

平成 30 年度第 2 回監査委員会の指摘事項等の検討・改善状況

	指摘事項	検討・改善状況
1	<p>医師のインシデントレポート報告は増加している。研修医のインシデントレポート報告の増加も期待したい。</p> <p>学生時代から意識を高めるよう引き続き努めていただきたい。</p>	<p>研修医に対して、インシデントレポート報告の啓発及び紙面での報告方法の周知を行った。今年度上半期の報告数は 38 件であり、昨年度通年 24 件から既に 14 件増加している。</p> <p>昨年度に引き続き医学部学生に対して医療安全に関する講義を実施した。</p>
2	<p>講習会の確認テストは、正答率 100%を目指して取り組んでいただきたい。</p>	<p>昨年度に実施した講習会の確認テストの正答率を基に、問題文や選択肢の見直しを行い、改善を行った。</p>
3	<p>医療安全相互ラウンドでは、ラウンド先の良いところは積極的に取り入れていただきたい。</p>	<p>他院では病棟配置薬を定期的に見直しており、必要最小限で管理されていた。当院でも病棟配置薬の見直しを実施し、配置数を改善した。</p>
4	<p>画像診断報告書の未読防止のシステムは非常に良い。運用結果に期待したい。</p>	<p>7 月 1 日より「放射線読影レポート既読管理機能」の運用を開始した。</p> <p>既読率 100%に向けて、医師に対して講習会等で周知している。</p>
5	<p>同意書取得の際には、どのような説明を行って同意を得たのかを電子カルテに記載する必要があると考えられる。</p>	<p>毎年度、診療記録記載監査を実施し、「病状説明の内容と患者・家族の反応等が記載されているか」を監査している。今年度は 80.8%の実施率であった。</p>
6	<p>倫理に関する問題の対応では、医師だけではなく多職種のチームで取り組むことが重要である。</p>	<p>当院では「患者・家族等に対する対応、倫理的問題等発生時の対応の支援」を行う体制を整備しており、多職種で編成した対応支援チームで対応を行っている。</p>